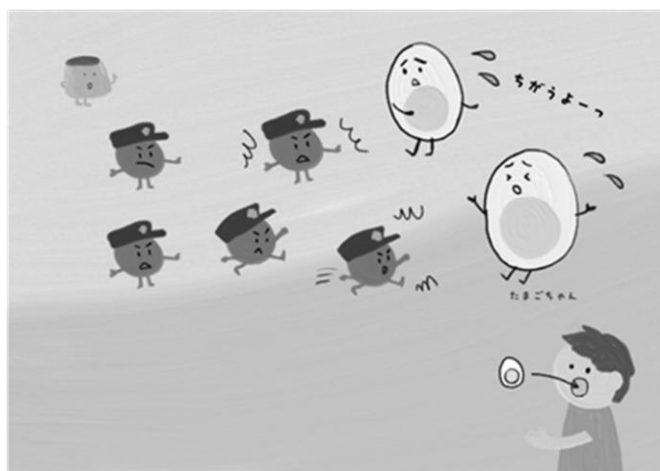
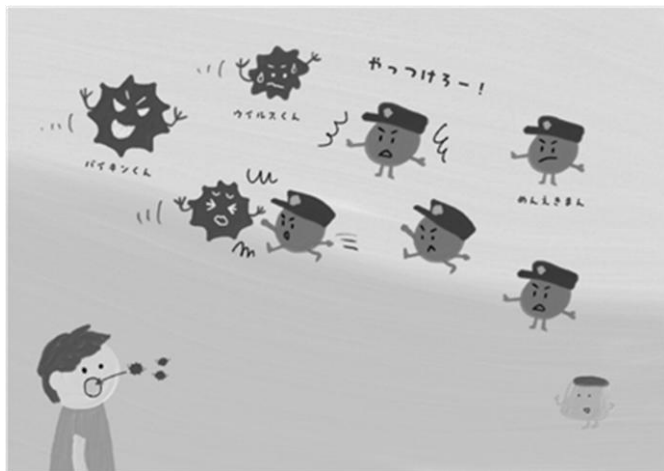


10月 ほけんだより

知立市立来迎寺小学校
令和8年度

2年生が食物アレルギーの保健教育を受けました



「食物アレルギーはどうして起こるの？」

体によくないバイキンやウイルスをやっつけたり、追い払ったりして体を守る免疫が、食べ物を『敵』と間違えて、やっつけたり、追い払ったりすることがあります。そこで、食べ物が体に合わず、体の具合が悪くなってしまうことで、食物アレルギーが起こるのです。



「好き嫌い」と「食物アレルギー」はちがいます



知立市内の小中学校では、9月からストローレス牛乳の導入が始まりました

始めは牛乳パックに直接口をつけて飲んだり、畳んで片付けたりすることに戸惑う子もいましたが、今ではほとんど児童が上手に牛乳を飲み、片付けができています。

牛乳の食物アレルギーがあるお子さんの安全を考慮して、導入を進めてきましたが、もし心配なことやお困りのことがある時は遠慮なく保健室までお知らせください。



しょくもつ ほけんきょういく かんそう
食物アレルギーの保健教育の感想より

アレルギーにかかると、大へんなことがおきるなと思ひました。きゅう食の前に自分のアレルギーの食べ物がなにか、かくにんすることが大せつだと思ひました。

2の1 さん

ぼくはアレルギーはないけれど、アレルギーの子のたすけになるんだなと思ひました。

2の1 さん

アレルギーの友だちがいてなにかわからないので、友だちがくるしそうにしていたら、できることをやってあげたいと思ひました。

2の2 さん

給食を食べた後も手を洗うことが大事だと思ひました。

2の2 さん

今日学んだことは、アレルギーのお友だちがいたらたすけてあげることです。アレルギーのしゅるいはいっぱいあるから、ぐあいがわるそうにしていたらたすけてあげることが、きょうのおはなしでだいじだなと思ひました。

2の3 さん

アレルギーの子のぐあいがわるそうだったら、すぐにおとなをよぼうと思ひます。

2の3 さん



「もしお友だちがアレルギーを起こしたらたすけたい」「いっしょにアレルギーをきをつけたい」というかんそうがたくさんありました。アレルギーを自分事のように捉え、思いやりの気持ちをもって考えることができるやさしい2年生が多く、とても心強いなと思ひました。素敵です！